

# 令和5年度

## タイ北部3県少数民族地域における

### 自立支援事業 (第1年次)

### 中間報告書

タイ北部のメーホンソン県、ターク県、チェンマイ県に広がる少数民族地域では、ミャンマー情勢の影響を受けたミャンマー人コミュニティや紛争被害者、障害者が多数生活しています。本事業では、これらの人々に対し、ミャンマー情勢の安定化後の自立と円滑な帰還を見越した支援を行います。農業開発や職業開発を通じて自立を促進するとともに、地域一帯の食糧安全保障体制の構築を目指します。

特定非営利活動法人グレートメコンセンター



# 事業期間

事業期間（全体）

2023年10月01日～2026年9月30日（36ヶ月）

事業期間（今次）

2023年10月01日～2024年9月30日（12ヶ月）

本事業は、タイ北部3県に居住するミャンマー人コミュニティや紛争被害者、障害者を対象に、**自立支援と緊急的な生活保障支援**を行うものです。3年の事業期間を通じて、ミャンマー情勢の安定化後の円滑な帰還に向けた準備を進めていきます。第1年次の今期は、地域一帯の共助体制の基盤を整備することが目標です。

# 事業地の概要



## 1 メーホンソン県

バンコクから約700km、車で10時間の距離にあります。メーホンソン市はカレンニー族の少数民族地域の拠点で、メーサリアン郡やソップムーイ郡にはカレン族の少数民族地域が広がっています。

## 3 チェンマイ県

バンコクから約680km、車で9時間の距離にあります。メーリム郡では、ミャンマー側での紛争被害者の一部がメーリムの病院に搬送され、退院後もリハビリのため生活しています。

## 2 ターク県

バンコクから約480km、車で6時間の距離にあります。ターソンヤン郡やメーソット郡、ポップラ郡には、カレン族を主とした少数民族地域が広がっています。



# 事業内容

## 1 自立支援

農業開発と職業開発の支援を通じて、国際社会の支援に頼らず自立して食糧を確保できる環境を整備。また、職業選択の幅を広げ、収入を得る手段を増やします。

## 2 緊急生活保障支援

ミャンマー人コミュニティの健康維持と、生命および日常生活の質の向上を図ります

# 事業実施体制

## グレーターメコンセンター (GMC)

本事業の主体となる団体です。タイ国内の事業実施のため、GMCより日本人職員を TJEDFに出向させる形で事業を実施しています

## タイ日教育開発財団 (TJEDF)

本事業はタイ国内の事業であり、タイ政府認可財団との連携が不可欠です。また円滑な事業実施のためにもTJEDFがタイ政府、タイ王室プロジェクト、タイ国軍僻地開発部との渉外を行っています。



TJEDF

## 3者間MOUの締結

グレーターメコンセンター、タイ日教育開発財団、タイ政府機関（Thai Royal Project、Thai Military）の3者間でMOUを締結し、事業を実施しています。



# 1 ミャンマー人コミュニティの自立支援



## 施設整備

1

農業開発や職業訓練を行うための施設を整備しています。トレーニングセンター兼保管倉庫・加工場、ボカシ有機肥料工場、養鶏施設、紛争による障害を持つ被災者や、視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者向けの食堂施設が完成しました。



## 農業開発

2

地域一帯の食料自給率を向上させるため、米、野菜の生産活動を実施しています。これらの収穫物は地域のミャンマー人コミュニティに配布され、これまでの総配布人数は3,021名に達しています。また、有機栽培技術と肥料製造、キノコ栽培、畜産・養鶏・養魚に関する研修が実施されています。これまでに合計で186名が参加しました。



## 職業開発

3

縫製技術、衛生製品製作と機械電気工技術研修を行い、これまでに合計で117名が参加しました。ミャンマー人の職業選択の幅を広げ、収入を得る手段を増やしています。また、紛争被害者や障害者の自立支援のためのリハビリテーション機器・患者ケア機器・トレーニングキットの正しい使用方法、メンタルヘルスケアなどに関する研修なども実施され、20名が参加しました。



## 2 緊急的生活保障支援

### 食糧・生活必需品等の支援

メーホンソン県、ターク県、チェンマイ県に居住するミャンマー人コミュニティに対し、食糧・生活必需品・医薬品・応急手当用品の配布を行っています。2024年4月までに、56,060人に配布された支援の総額は38,757,854円です。また、重度の栄養失調などの乳幼児を対象に粉ミルク、離乳食などの支援も実施しています。

### 病院治療費等の支援

紛争被害者の増加に伴い、病院治療費の支援が急増しています。2024年4月までに61名に対し6,231,763円の支援を実施しました。国際赤十字社（ICRC）によるスクリーニングを採用し、患者に優先順位をつけることによる効果的な緊急支援が可能となっています。また、患者搬送用の車両やボートの提供、搬送費の支援も行っています。

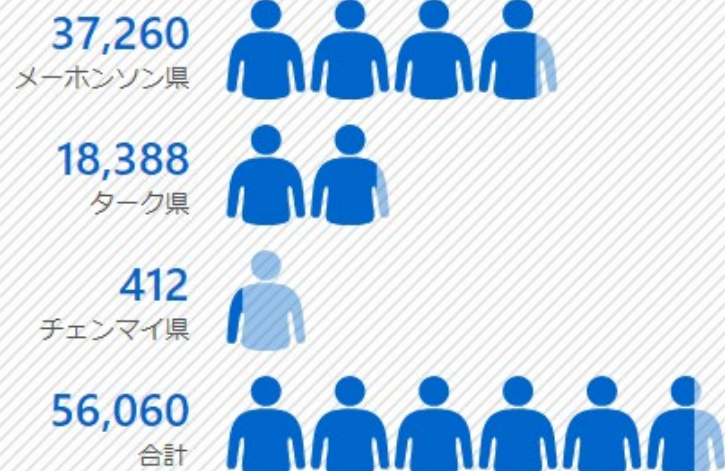
### 一時避難用住居支援

紛争被害者や体調不良者を優先して受け入れるため、14軒の一時避難用住居を借り上げています。2024年4月末時点で361名が居住しており、これまでに3,690,365円の支援を行いました。

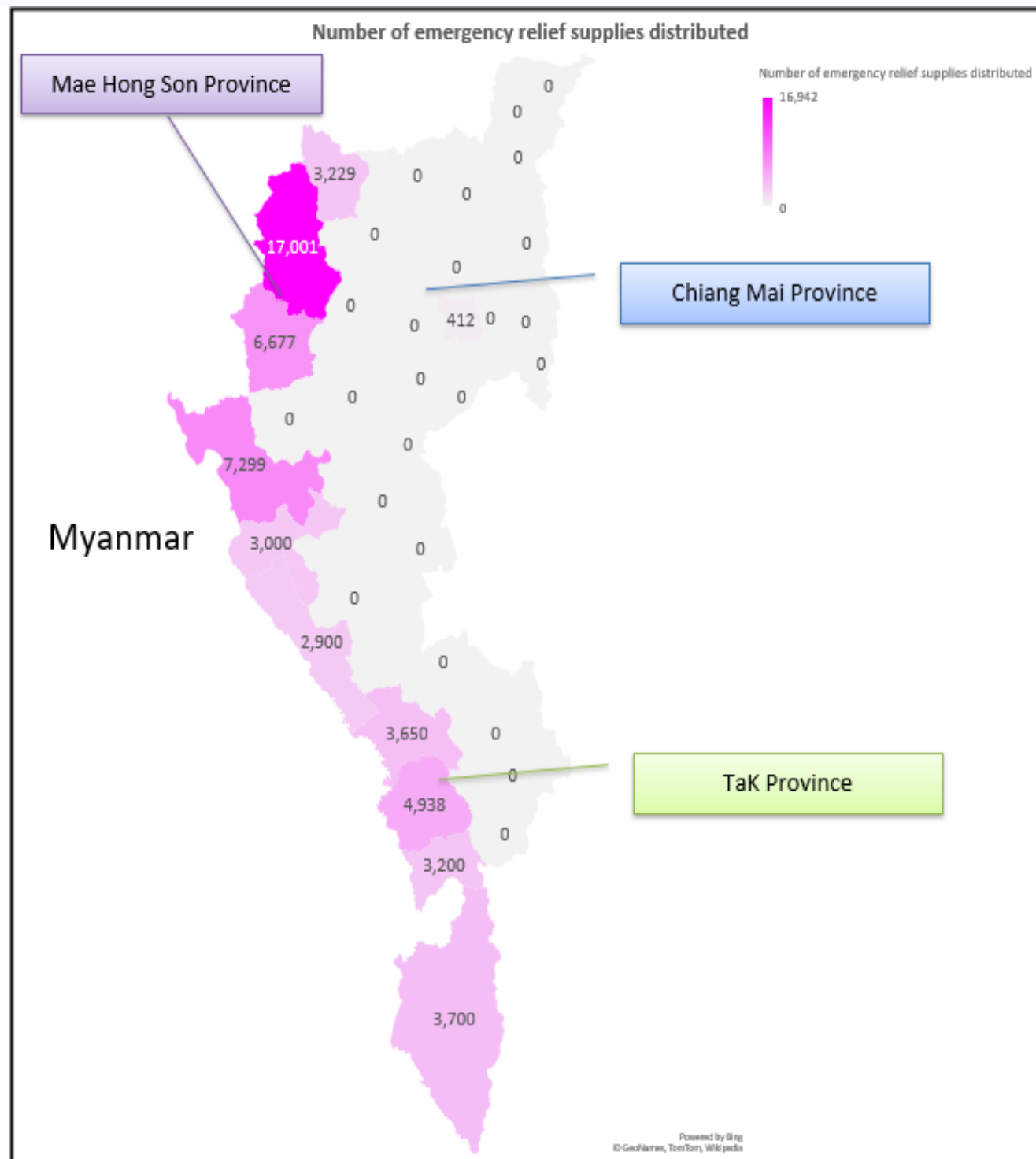


# 緊急的な食糧・生活必需品・医薬品・応急手当用品支援の詳細

## 地域別累積配布人数



## 物資別累積支援金額



Province	District	Number of emergency relief supplies distributed
Mae Hong So	Mueang Mae Hong So	17,001
	Khun Yuam	6,677
	Pai	0
	Mae Sariang	7,299
	Mae La Noi	0
	Sop Moei	3,000
	Pang Mapha	3,229
Tak	Mueang Tak	0
	Ban Tak	0
	Sam Ngao	0
	Mae Ramat	3,650
	Tha Song Yang	2,900
	Mae Sot	4,938
	Phop Phra	3,200
	Umphang	3,700
	Wang Chao	0
	Chiang Mai	Mueang Chiang Mai
Chom Thong		0
Mae Chaem		0
Chiang Dao		0
Doi Saket		0
Mae Taeng		0
Mae Rim		412
Samoeng		0
Fang		0
Mae Ai		0
Phrao		0
San Pa Tong		0
San Kamphaeng		0
San Sai		0
Hang Dong		0
Hot		0
Doi Tao		0
Omkoi		0
Saraphi		0
Wiang Haeng		0
Chai Prakan	0	
Mae Wang	0	
Mae On	0	
Doi Lo	0	
Galyani Vadhana	0	
<b>Total</b>		<b>56,006</b>

Powered by Bing  
© GeoNames, TomTom, Wikidata



# 事業の公開性と連携

1

## タイ政府機関との連携

タイ王室プロジェクト機関の Highland Research and Development Institute (HRDI)やTak Agricultural Research and Development Center (TARDC)、タイ軍の Military Development Brigade 3(MDB3)と連携し、事業を進めています。

2

## 現地団体との連携

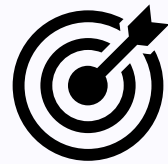
国際赤十字社(ICRC)や長年タイ・ミャンマー国境を拠点に活動している現地の人道支援団体、及び10の少数民族団体とも連携しています。

3

## 事業評価会議の開催

事業関係者を招聘した事業評価会議を開催し、意見交換を密に行うことで、事業の透明性を高めています。

# 事業の目標と期待される成果



## プロジェクト目標

ミャンマー人コミュニティや紛争被害者に対し、ミャンマー情勢の安定化後の自立と円滑な帰還を見越した支援を行います。また、少数民族地域一帯の農業開発を通じて、食糧安全保障体制を構築します。



## 期待される成果1

国際社会の支援に頼らず、自立して食糧を確保できる環境を整備します。また、職業選択の幅が広がり、収入を得る手段が増加します。



## 期待される成果2

ミャンマー人コミュニティの健康の維持と、生命及び日常生活の質の向上が期待されます。